

各位

上場会社名 愛眼株式会社
代表者 代表取締役社長 下條 三千夫
(コード番号 9854)
問合せ先責任者 経営企画室長 叶 雅文
(TEL 06-6772-3730)

業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに併せて特別損失の計上をお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 8,541 | 8 | △7 | △59 | △3.02 |
| 今回修正予想(B) | 8,601 | △121 | △71 | △255 | △13.17 |
| 増減額(B-A) | 60 | △130 | △63 | △196 | |
| 増減率(%) | 0.7 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期) | 8,356 | △762 | △769 | △1,492 | △76.07 |

修正の理由

(1)平成26年3月期第2四半期の業績予想の修正

売上高につきましては、11店舗の新規出店やNEW愛眼の地域消費者への周知・集客のため、廉価をアピールした販売セールを展開し、販売着数が各年代で伸びたものの販売単価が低迷したため、わずかな増加となりました。経費に関しては継続して人件費、賃借料等の削減に努めましたが、出店・改装に伴う営業活動を活発に推進し販売費などのコストが予定を上回り、また下記減損損失を計上することとなり、営業利益、経常利益および四半期純利益につきましては、前回公表値を下回る見込みとなりました。よって平成26年3月期第2四半期の業績予想を修正致します。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、第2四半期決算発表時(平成25年11月8日予定)に発表する予定であります。

(2)特別損失の計上について

平成26年3月期第2四半期において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産のうち、収益性の低下が見込まれる店舗について、減損損失140百万円を特別損失に計上することになりました。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上